

# 知事記者会見の概要

日 時：令和2年12月12日(土) 15:40～16:02

場 所：502会議室

出席者：知事、防災くらし安心部長、健康福祉部長、医療統括監、  
広報広聴推進課長

出席記者：15名、テレビカメラ6台

## 1 記者会見の概要

広報広聴推進課長開会の後、知事から1件の発表があった。

その後、フリー質問があり、知事が答えて閉会した。

## 2 質疑応答の項目

### 発表事項

- (1) 新型コロナウイルス感染症への対応について

### フリー質問

- (1) 発表事項に関連して

<幹事社：朝日・荘内・NHK>

## ☆報告事項

### 知事

はい。新型コロナウイルス感染症への対応について申し上げます。

本日、県内で22人の新規感染者が確認されました。これは県内での1日の新規感染者数としては最多、過去最多であります。新規感染者数の確認は、18日間連続となりました。累計では240人となったところであります。特にですね、12月以降になって急増しているところです。

現時点での入院患者数ですが、新型コロナ専用病床に56人、うち重症の入院患者数はお1人です。専用病床以外の「山容病院」と「三川病院」での入院が合わせて23人となっております。そのほか宿泊療養の方が5人、また現在、療養先調整中の方が6人おられます。

県全体の新型コロナ専用病床の病床占有率は25.9%となりました。政府のステージ3の基準では、20%以上になると「ひっ迫」としておりますので、まさにですね、医療現場の負担も増加しているところであります。

また、重症化リスクの高い高齢者の感染が増加しておりまして、60歳以上の入院患者は50人となりました。高齢者の方は、いつでも重症化することがあり得ますので、医療現場のひっ迫を招く恐れがあります。大変危機感を持っているところであります。

こうした状況に加え、庄内地域の2つの病院と山形市・天童市の2つの飲食店で集団感染、いわゆるクラスターが確認されました。そのことや感染者が確認された地域も広がっておりますことなども踏まえ、県内では、感染が拡大傾向にある状態と判断し、昨日、本県の新型コロナ対応の目安をですね、レベル4の【特別警戒】に引き上げたところであります。

県としましては、現在、庄内地域の病院における集団感染対策のため、庄内保健所長を本部長として、県と関係市町、地区医師会、病院、患者受入調整本部からなる「感染対策本部」を設置いたしまして、感染者等の状況把握やPCR検査の円滑な実施に向けた調整や、病棟内のゾーニング、また、感染防止に必要な資機材の提供などを行っております。

また、飲食店の集団感染への対応としましては、不特定多数の接触者がいる可能性がありますので、店名を公表して、利用者に対する相談申出の呼びかけを行い、現在、所管の保健所で問い合わせや相談の対応、PCR検査への誘導を行っているところです。

引き続き、感染が確認された方の行動歴の把握と濃厚接触者の特定に努め、感染の連鎖を食い止められるよう、全力で取り組んでまいります。

県民の皆様には、新型コロナの感染が拡大局面にあるということを踏まえ、一層の警戒をお願いいたします。感染のリスクが常に身の回りにあるという意識を持っていただき、基本的な感染防止対策として、マスクを正しく着用する、こまめな手洗い、適切な換気、

身体的距離の確保など、「新・生活様式」を徹底していただくようお願いいたします。

そのうえで、年末年始を穏やかに迎えるためにもですね、12月20日までの短期集中の取り組みをして、県民の皆様、事業者の皆様は、4点の感染防止対策について、しっかりと徹底していただくようお願いいたします。やはり、年末年始を穏やかに迎えていただきたいと思いますので、これは、12月6日の本部員会議で申し上げましたけれども、それから2週間の12月20日まででございます。まずは、ここまでしっかりと皆さんと一緒に取組んでいただきたいと思います。

1点目ですけれども、県外の感染拡大地域との往来でございます。

全国の感染者数は17万人を超えており、全国的に感染拡大傾向が続いております。政府が感染拡大地域と捉えている、北海道、首都圏、関西圏、中部圏、沖縄県との間の不要不急の往来は、できる限り控えていただくようお願いいたします。Web会議などオンラインをできるだけ活用していただきたいというふうに思います。併せまして、やむを得ず移動する場合には、移動先でも「新・生活様式」の実践を徹底していただくようお願いいたします。

2点目は、飲食店等の事業者の皆様に対するお願いであります。

複数の飲食店、スナックやバーで集団感染が確認されておりますので、同じ業態の業界団体や事業者の皆様は、従業員の健康管理をしっかりと行うことを含めて、改めて業種別ガイドラインの遵守を徹底していただくようお願いいたします。また、利用者の方に対しても、会話の際のマスクの着用や身体的距離の確保、体調が悪い場合には利用を控えていただくことなど、感染防止対策への協力をお願いしていただきたいと思います。お店から利用者の方にもお願いしていただきたいと思います。

3点目は、会食の際の留意事項です。

県民の皆様には、会食の際は、少人数・短時間で、そして会食時の会話の際はマスクを着用していただくよう、改めてお願いいたします。また、飲食店を利用する際には、ガイドラインを実践している飲食店を利用し、実践していない飲食店の利用は控えていただきたいと思います。

4点目になります。重症化リスクの高い高齢者の方の感染が増加しております。

高齢者や基礎疾患のある重症化リスクの高い方は、御自分や周りの方の命を守るためにも、より慎重な行動をとっていただくようお願いいたします。特に、飲酒を伴う会合、会食はできる限り控えていただくようお願いいたします。

以上の4点について、12月20日までの短期集中で、しっかりと徹底していただくようお願いいたします。

一方で、全国的に、新型コロナの感染拡大が続く中、県内経済は厳しい状況となっております。このところの感染者の急増等による自粛ムードの広がりから、とりわけ酒類を提供する夜間営業の飲食店等において、忘新年会がキャンセルになるなど、これまでにない厳しい経営環境となっており、売上減少に伴う倒産や廃業の増大が懸念されるところであります。こういった状況から、県では、この年末年始を乗り越え、今後も事業継続していただけるよう、酒類を提供する夜間営業の飲食店等に対する支援策を緊急に講じるため、現在その内容の詰めを行っているところであります。現在開会中の12月定例会に追加提案してまいりたいと考えております。

医療機関でも集団感染、クラスターが発生しておりますが、医療従事者の皆様は、自らの感染リスクも顧みず、医療の最前線で日夜戦っておられます。

また、保育・介護等の福祉事業者の皆様、県内の経済・社会活動を支えていただいている皆様も、感染リスクが懸念される中で、使命感を持って業務に従事いただいております。皆様の御尽力に対し、あらためて深く感謝を申し上げたいと思います。

そして、感染拡大防止に御協力いただいている全ての県民の皆様、事業者の皆様にも感謝を申し上げたいと思います。

最後になりますけれども、新型コロナは、気づかないうちに誰でも感染する可能性がある、そういう病気です。私たちが今行うべきことは、感染防止対策の徹底でありまして、誰かを誹謗中傷することではありません。感染された方やその御家族、職場関係者、医療従事者などに対する心無い言動やSNSでの書き込みなど、差別や偏見、いじめなどは決して行わないようにしましょう。

お互いに思いやり、支え合いの気持ちを持って、一緒にこの難局を乗り切ってまいりましょう。どうぞよろしく願いいたします。私からは以上です。

☆フリー質問

記者

河北新報の岩田です。レベルのご認識についてお尋ねしたいんですけども、今レベル4に上げてですね、現状、レベル5との距離感というか、非常に近いと認識されているのか、あと政府のほうのステージで、先ほど病院の病床占有率が25%を超えているというところで満たしている数値もあるけれども、現状、県のほうではステージ2ということなのか、3の入口に来ているのかとか、そのあたりのご認識いかがでしょうか。

知事

はい。そうですね、主にその重症患者数というのが大変医療現場のひっ迫には直結するというふうに思っておりますので、現時点では1名でありまして、ただ、60歳以上の方の

入院患者数が50名というふうに変多くなっておりますので、いつ重症化するかわからないということもありますので、現時点では県の目安のレベル5までは行かないというふうに思っております。だからレベル4になったばかりと言いますか、現時点ではそういう認識ですね。だから5が近いというふうには思っておりません。

ただ、重症者がもっと増えるというような局面になれば、やはり。ただその可能性が非常にあるというようなことで、大変毎日患者さんの動向をですね、軽症者が中等化してまた重症化するとか、そういったことに対して非常に毎日毎日ドキドキしながら本当に緊張感を持って注視をしているところであります。5にはまだ近くはないというふうに思っておりますけど、ただ、このまま感染が拡大していけば、間違いなくそういうレベルに近づいていくというふうに思います。

ですからここで、やはりなんとしても12月20日まで本当にご不便をおかけしますがけれども、みんなで、県民の皆さんと一緒に、ちょっと厳しめなことを申し上げましたけれども、なんとしてもこの感染拡大を防いでですね、抑制して、レベル5に行かないようにしたいというふうに思っているところです。

記者

ステージのほうはいかがですか。

知事

政府との？

記者

そうです、はい。

知事

政府のステージで言えば、我が県はステージ2になっているというふうに認識をしております。ステージ3にはまだなっていないというふうに、現時点では思っております。

記者

わかりました。あと、その12月定例会に提案するという支援策ですけども、感染拡大の中なので、当然その飲食店にですね、集客を支援するような形ではなくて、金銭的な支援というか、そういった方向性で考えているということですよ。

知事

そうですね。そういった方向性で考えております。検討中であります。

記者

わかりました。ありがとうございます。

記者

日本経済新聞の浅山です。いわゆる「Go To キャンペーン」であるとかですね、そういうキャンペーンの関係についてはですね、今おっしゃった4点の中で判断していただきたいということで、特に何か見直しを求めるとか検討するとか、そういうことはないということですね。

知事

そうですね。例えば「Go To トラベルキャンペーン」ですけれども、都道府県が政府の新型コロナウイルス感染症対策分科会が示しているステージ3に相当すると判断した時に政府と調整するということになっております。本県でも感染は拡大してきているんですけれども、現時点では、この段階ではステージ3に相当する状況にはないと考えておりますので、今すぐそういったことに対する規制をですね、政府に対して申し出て調整するということには、今の時点ではないというふうに思っております。

記者

あと、いわゆる年末年始のですね、帰省とか、皆さん悩んでいらっしゃるかと思うんですが、11月の記者会見の時に12月10日までに何らかの目安的なものを示すというお話があったかと思うんですが、現状ではその点については県民の皆さんにはどういうふうに。

知事

そうですね、12月10日頃というふうに申し上げましたけれども、今日12日でありまして、10日は過ぎておりますが、10日頃には当たるのかなと思いますけど、本当に感染がね、増えてきております。

ただ、今のところですね、あとで報告あるかと思えますけど、まったくの市中感染と言いますか、そういうことは少なく、一応経路を追っていけるというところであったり、あるいはクラスターということで、病院だったり飲食店だったりするのですが、病院のほうはその病院の中でというふうなことになっておりますし、今のところ経路を追えているのが大半でありますので、そうですね、その帰省に関してまでは、今の時点で言及はしておりません。

ただ、本当に全国的にこのように増えていく中でですね、どのようにすべきなのかなということを県民の皆さんもやはり悩ましく思っておられると思いますし、ご家族の方やお知り合いの方とのそのやり取りをね、されているかなと思っております。もうちょっと様子を見させていただければなと思います。

記者

山形新聞の小田と申します。12月に入ってですね、入院されている方がだいぶ増えてきまして、内陸のほうはですね、療養施設もありまして、今、活用も進んでいるかと思えます。

その反面、庄内地域のほうは今、療養施設のほうは、県でですね、確保したものはなかったかと思えますけれども、その点について、今日も庄内のほうで入院者増えておりますけれども、今後何か対応されるようなお考えとかですね、あと、どのように受け止めていらっしゃるか、療養施設の確保とかですね、改めてするようなお考えとかあるのか教えてもらえれば。

知事

そうですね、療養施設というのはやはり探してはきたわけでありましてけれども、ただ、病院の中でも受け入れていただけたところが庄内でございますので、今のところ、このぐらいの状態ですとまだ受入れ可能ということを知っておりますので、今のところなんとかなるというような状況だというふうに思っております。

記者

わかりました。ありがとうございます。

記者

NHKの金敷と申します。今の質問と関連するんですが、今、現時点としては庄内地域も受け入れていただける医療機関もあるということで、現状はということですが、この状態が続いていくとまだ増える可能性というのもあり得ると思えます。それは庄内に限らず内陸側もそうだと思うんですが、病床のさらなる確保も含めてこういう療養施設の確保というのは、まだ検討というのは進んでいないのでしょうか。

知事

はい、県とですね、市町村とで連携をしっかりと取っていきますので、担当のほうから聞いておりますけれども、市町村のほうの病院ということもございまして、そういったところの活用も考えさせていただいたりして、何とかしのいでいければというふうに思っております。